

2021年11月8日

各位

ニッポンジーンとのライセンス契約締結のお知らせ

C4U株式会社（以下「C4U」といいます。）と株式会社ニッポンジーン（以下「ニッポンジーン」といいます。）は、C4Uが独占的通常実施権を有するCRISPR-Cas3技術に関する特許をニッポンジーンに対して非独占的に実施許諾するライセンス契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

これによりニッポンジーンは、CRISPR-Cas3技術を用いた試薬の開発・製造販売が日本国内において非独占的に実施可能となります。

本契約締結により、C4Uはニッポンジーンより契約一時金を受け取ります。また、本件特許を利用した試薬製品の売上に対して、C4Uはニッポンジーンよりロイヤリティを受け取りますが、さらなる契約の詳細および具体的な対価については開示しておりません。

<C4Uについて>

C4Uの基盤技術であるCRISPR-Cas3技術は、C4Uの創業メンバーである東京大学医科学研究所先進動物ゲノム研究分野の真下知士教授、大阪大学微生物病研究所の竹田潤二招へい教授らの研究成果を基に開発されたCRISPR-Cas3を用いた新しいゲノム編集技術です。CRISPR-Cas3技術は、オフターゲット変異が少なく安全性が高いことやターゲット遺伝子とその周辺を広く削ることができるといった特徴を有し、現在世界中で研究が先行しているCRISPR-Cas9の複雑な特許状況に影響されない、これに対抗し得る有望なゲノム編集技術として注目を浴びています。

C4Uは、CRISPR-Cas3技術に関する特許につき国立大学法人大阪大学より再実施許諾権付独占的通常実施権許諾を受け、遺伝性疾患に対する新規の遺伝子治療法の開発及び同技術のプラットフォーム展開を目指しております。

<ニッポンジーンについて>

ニッポンジーンは1982年に設立されたバイオテクノロジー企業です。「健全な生命科学の進歩・発展を支援する」ことを基本方針として、ライフサイエンス分野の研究開発で使用される酵素類をはじめ、核酸抽出や遺伝子増幅用試薬など、多くの研究用試薬を国内で生産し供給しています。また、バイオテクノロジーの活用により、体外診断用医薬品をはじめとした、環境、食品、動植物病等の検査・診断薬の開発や製造販売も行っています。

<用語の解説>

ゲノム編集技術： DNA切断酵素と人工的にデザインしたRNAなどを細胞に導入し、ゲノムの局所を選択的に切断、改変する技術です。

CRISPR-Cas3： CRISPR-Cas9同様に二本鎖DNAを切断しますが、crRNA（ガイド）認識配列が長い（27塩基のガイド配列）ことから、特異性が高く、オフターゲット変異（狙った部分以外の変異）が少ない、より安全なゲノム編集ツールです。また、大きな欠失を起こすことも可能なため、遺伝子の改変に加えて機能を失わせることも得意としています。

CRISPR-Cas9： 現在広く利用されるゲノム編集技術の一種で、Cas9がガイドRNAと結合し、ガイドRNAの一部（20塩基のガイド配列）と相補的なDNAを選択的に切断します。ガイド配列を変更することにより、様々な塩基配列をもつDNAを選択的に切断することができます。

<本件に関するお問い合わせ先>

C4U株式会社 管理部

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号

大阪大学テクノアライアンスC棟7階

TEL/FAX：06-6369-7180

E-mail：info@crispr4u.com

株式会社ニッポンジーン

研究試薬部 学術営業課

TEL：076-451-6548

WEB：<https://www.nippongene.com/>

以上